

御原小学校だより

児童数 256名

<御原小学校の教育目標> 「志をいただき、人とつながり、未来を拓く子どもの育成」

【合言葉】「つながって、笑顔いっぱい！」

文責：中村 敬子

○5年生、田植え体験

6月27日(木)、今年も、5年生が種籾まきをして1ヶ月間、お世話をした苗で田植えを行いました。当日は、朝から雨が降り続けましたが、農業法人御原グリーン(代表 藤井豊志様)管理の田をお借りし、藤井誠様、JAや地域の皆様のご協力で実施できました。お礼を申し上げます。子どもたちは、腰を曲げて苗を植える仕事の大変さを実感したようでした。最後は泥だらけになって、笑顔で学校に戻ってきました。



○6/28地域懇談会実施

臨時休校だった6月28日(金)、あすてらすにおいて、地域懇談会を実施いたしました。市議会議員 山田忠様、青少年育成会議理事 柳茂様、区長さん・主任児童民生委員さん方、味坂駐在所 山下様を来賓に迎え、今年のテーマ「子供たちの安全・安心を守る取組について」にそって、開催しました。まず、全体会で、学校の取組について説明した後、柳茂様からは「こども110番の家」運動について説明がありました。後半は、各地域ごとに懇談を行いました。この時期、大雨・台風・熱中症など子どもたちが安全・安心して過ごせるために、地域の危険箇所を確認した事はとても意義のあることです。PTA 地域委員さんを中心に準備、当日の進行等、お世話をおかけしました。ありがとうございました。

○7月は同和問題啓発強調月間です

本年度も、学級の委員さん方と人権教育啓発センターで事前学習会を行うことができました。本校の人権・同和教育の取組について説明した後、人権教育啓発センター所長 香月浩様に市内の6年生が小郡市人権教育啓発センター見学でどんな学習をしているのか、具体的に話していただいた後、2階にある小郡市名誉市民、上杉佐一郎さんの展示物も見学することができました。

7月4日(木)は、人権学習・学級分会です。子どもたちが安心して生活でき、自由に、自信をもって目標に向かって活動ができるように、保護者と共に日々の教育活動に当たっていきましょう。また、7月13日(土)14時から文化会館で小郡市同和問題市民講演会があります。是非ご参加ください。

“平成28年に国は部落差別の解消を目的とした「部落差別解消推進法」を制定しました。市も平成30年に条例を改正し、部落差別の解消に向けた教育・啓発に取り組み続けています。また、令和5年には、「小郡市インターネット上の人権侵害の防止等に関する条例」を県内で先駆けて施行しました。「同和問題は、放っておけばなくなる」と言う人がいます。しかし、正しい知識を身に付けていなければ、間違った情報(デマ)に触れた際にそれを鵜呑みにしてしまい、さらに差別を広げてしまう可能性があります。同和問題を正しく知り、差別を許さない姿勢をもつことが、同和問題解決のためには不可欠です。”(市広報7月号より抜粋)さまざまな学びの場を通じて、一人ひとりが豊かな人権感覚を身に付けることが、誰もが安心して暮らせる住みよい社会をつくることにつながります。



○4年 POP講座

7月1日(月)、4年生を対象にPOP講座を行いました。この学習は、毎年、市内の小学生を対象に講師 片山茂先生を招いて市立図書館の協力でを行います。子どもたちは、各自、友だちにお勧めしたい本を持ち寄って、POPを作成しました。題名を太いマジックで書き、「○○が好きな人・・・」「○○に興味をもっている方に・・・」と短い言葉で表現します。色のコントラストに気をつけて、台紙の色画用紙やマジックの色を自分で決めて作成します。子どもたちは、あっという間に作品を仕上げました。



【4年1組の様子】



【4年2組の様子】

